

「半導体産業に中小企業が参入する時代！経営者・支援者も必読の通信講座」

～半導体産業の変革がもたらす社会の未来と中小企業の可能性を解説～

【商品概要】

「半導体」が中小企業に及ぼす影響がわかるコース」

本講座では、半導体が製造業だけでなく、一般事業者や消費者の生活にも大きく関わることを解説。今後ますます加速する、省エネ・DX（デジタル化）・GX（グリーントランスフォーメーション）の潮流を受け、半導体がどのように社会変革を牽引するのかを明らかにします。

また、中小企業が半導体産業にどのように参入できるのか、成功事例とともに解説。

コインバンク株式会社の中川友二が執筆を担当した第4章では、特に中小企業の半導体活用の可能性に焦点を当て、実際の事例とともに具体的な戦略を紹介しています。中小企業が半導体産業にどのように参入できるのか、成功事例とともに解説。最新の半導体工場の動向（TSMC 熊本工場、ラピダス）にも言及し、今後の産業構造の変化を考察します。

 テキストの詳細はこちら

(https://www.khk.co.jp/course/course_detail.php?pid=54373)

【開講の背景】

✦ 「2027年、蛍光灯が使えなくなる」— 半導体が社会インフラを支える時代に

2027年までに、水銀条約の規制により日本国内で蛍光灯の製造と輸出入が終了します【※経済産業省資料より】。

これにより、一般家庭や事業者はLED照明へと移行する必要があり、半導体技術が不可欠な社会となります。

蛍光灯の廃止 → LED化の進展

LEDは半導体を活用した照明技術。電力消費の削減（約40-60%）、長寿命化というメリットがあります。企業や自治体がDX・GXを進める絶好の機会に。物流・倉庫・工場・店舗・オフィスの省エネ化、自宅の節電にも直結します。

✦ 「半導体不足が引き起こした物価高騰」— いまこそ戦略的な投資を

2021年の半導体不足は自動車・家電の価格高騰を引き起こし、経済に大きな影響を与えました。

その後、政府は半導体の国内生産強化に向けた支援を拡大。

TSMC 熊本工場の本格稼働（2024 年）、ラピダスの北海道拠点着工など、日本の半導体産業が大きく動き出しています。

これに伴い、中小企業が半導体産業のサプライチェーンに組み込まれるチャンスが拡大しています。

✦ 「人手不足×半導体」― 省力化・自動化がカギ

産業機器・製造業の自動化に半導体技術は不可欠

例：物流倉庫の自動搬送システム、建設業のスマート機器、飲食業のロボット活用

人手不足を補う DX 技術（IoT・AI）にも半導体が必須

例：小売業のセルフレジ、製造業の遠隔監視システム、介護ロボット

✦ 「半導体は大手企業だけのものではない」― 中小企業の新たな活路

本講座では、中小企業が半導体活用で新たな事業を創出する方法を具体的な成功事例とともに解説します。協力企業 2 社（社名公開）による実際の取り組みも掲載（第 4 章 Case3、Case4）。

【価格】

講座の詳細および価格情報はこちらをご覧ください。

https://www.khk.co.jp/course/course_detail.php?pid=54373

【今後の展開】

3 月に経営者向けオンラインセミナーを開催！

本講座の内容をさらに深掘りし、中小企業が半導体関連事業へ参入するための具体的な戦略を解説するオンラインセミナーを実施予定。

参加企業には、政府の支援策や成功事例の共有など、即実践できる知見を提供します。

【担当者コメント】

👉 執筆者コメント（共著 コインバンク株式会社：工学博士 中川 友二）

「半導体はもはや製造業だけのものではなく、社会全体のインフラになっています。

特に 2027 年の蛍光灯規制をはじめ、エネルギー政策・人手不足対策として半導体技術の重要性が増していることを、本講座を通じてぜひ知っていただきたいです。」

👉 出版担当者コメント

本通信講座では、中小企業の経営に伴走する支援機関・金融機関の皆様に向けて、半導体産業や半導体技術の最新動向をわかりやすく解説しています。国内外のサプライチェーンの変革を踏まえ、中小企業の事業戦略に直結するヒントも多数紹介しており、企業経営者

の皆様にも役立つ充実の内容です。

本講座が、支援機関・金融機関と企業との架け橋となり、新たなビジネスの可能性を発見するきっかけとなることを願っています。

 メディア掲載・取材のお問い合わせ先

企業名：株式会社経済法令研究会 営業推進部

電話：03-3267-4810

HP：<https://www.khk.co.jp/contact/>